

南薩地域感染症危機管理情報ネットワーク (NISE) ナイス

2026 第22週(令和8年5月25日～令和8年5月31日)

【お問合せ先】 〒897-0001 鹿児島県南さつま市加世田村原二丁目 1-1 南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所）
TEL (0993) 53-2316 / FAX (0993) 53-4519 / E-mail minami-kenkou-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

★ NISE (ナイス) : Nansatsu Infectious Diseases Surveillance of Epidemiology

指宿管内のヘルパンギーナが流行発生警報基準値を超えましたので、流行発生警報を発令します。加世田管内及び県全体でも増加傾向が見られますので、今後の動向に注意が必要です。なお、手足口病の流行も継続しています。ヘルパンギーナ及び手足口病の原因ウイルスはアルコールが効きにくいいため、手洗い・うがいの徹底が重要です。日頃からこれらの習慣を取り入れて予防に努めましょう。

1 定点報告疾患の発生状況

疾患名	警報		注意報 基準値	対象	17週	18週	19週	20週	21週	22週
	開始基準値	終息基準値								
急性呼吸器感染症(ARI)	-	-	-	加世田	37.50	35.00	18.50	41.50	38.00	37.50
				指宿	24.50	32.50	15.50	29.50	29.00	37.00
				県	47.25	51.95	36.44	51.39	48.68	
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	0.50	-	-	-	-	0.50
				県	0.21	0.23	0.11	0.19	0.02	0.11
COVID-19	-	-	-	加世田	-	-	-	0.50	-	-
				指宿	-	-	-	0.50	1.50	0.50
				県	0.21	0.44	0.51	0.89	1.60	1.49
RSウイルス感染症	-	-	-	加世田	1.00	-	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	1.23	1.61	1.45	0.71	0.94	1.16
咽頭結膜熱	3.00	1.00	-	加世田	-	-	-	1.00	-	-
				指宿	-	-	-	1.00	-	-
				県	0.97	1.00	0.81	1.42	1.00	1.45
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	-	加世田	5.00	4.00	-	1.00	-	2.00
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	3.55	3.32	2.26	3.16	2.74	2.16
感染性胃腸炎	20.00	12.00	-	加世田	14.00	12.00	7.00	7.00	6.00	8.00
				指宿	19.00	6.00	5.00	7.00	8.00	3.00
				県	4.48	4.48	2.97	4.35	4.29	4.00
水痘	2.00	1.00	1.00	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	-	2.00	1.00	1.00	-	-
				県	0.26	0.52	0.32	0.29	0.03	0.29
手足口病	5.00	2.00	-	加世田	-	11.00	7.00	6.00	4.00	4.00
				指宿	-	1.00	-	7.00	10.00	16.00
				県	1.23	3.19	3.81	6.13	8.45	11.32
伝染性紅斑	2.00	1.00	-	加世田	-	1.00	-	-	-	-
				指宿	-	-	-	-	-	-
				県	0.32	0.13	0.26	0.35	0.35	0.19
突発性発しん	-	-	-	加世田	1.00	-	-	-	-	-
				指宿	2.00	1.00	1.00	-	1.00	-
				県	0.52	0.48	0.35	0.32	0.32	0.55
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	-	加世田	-	-	2.00	1.00	2.00	3.00
				指宿	-	-	-	-	5.00	10.00
				県	0.16	0.77	0.52	1.23	1.32	1.52
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	加世田	-	-	-	-	-	-
				指宿	1.00	-	-	-	-	-
				県	0.03	-	-	-	0.03	0.13

※鹿児島県のARI報告数は来週報以降に反映されます。また、データは後日訂正されることがあります。

警報 流行発生警報の基準値を超えた疾患

注意報 流行発生注意報の基準値を超えた疾患

加世田保健所 指宿保健所	◎警報発令中 (手足口病) (手足口病、ヘルパンギーナ)	○注意報発令中 (なし) (なし)
-----------------	------------------------------------	-------------------------

2 全数報告疾患の発生状況 (管内全ての医療機関から届出のあった一～五類感染症)

第22週 (5月25日～5月31日)	なし
-----------------------	----

3 南薩地域で注目すべき感染症

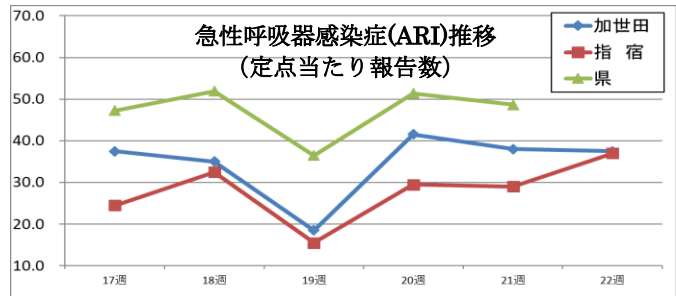
※人数は定点医からの報告数です。全体の患者報告数ではありませんので、注意してください。

急性呼吸器感染症 (ARI)

第22週の報告数は、加世田保健所管内で75人(定点当たり37.50)でした。

指宿保健所管内では、74人(定点当たり37.00)でした。

南薩地域内での年齢別報告数は、1~4歳(91人)、5~9歳(23人)、0歳(13人)の順に多く報告されています。

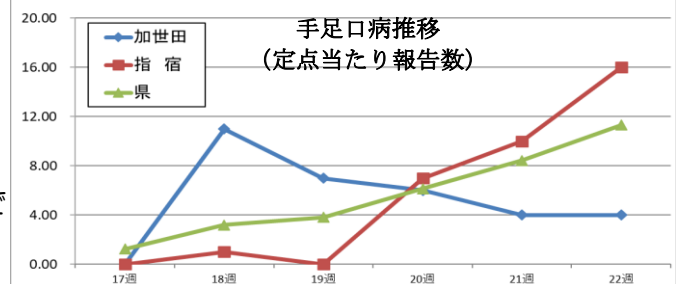


手足口病

第22週の報告数は、加世田保健所管内で4人(定点当たり4.00)でした。

指宿保健所管内では、16人(定点当たり16.00)でした。

県全体では、351人(定点当たり11.32)であり、前週に続き、増加傾向となっています。

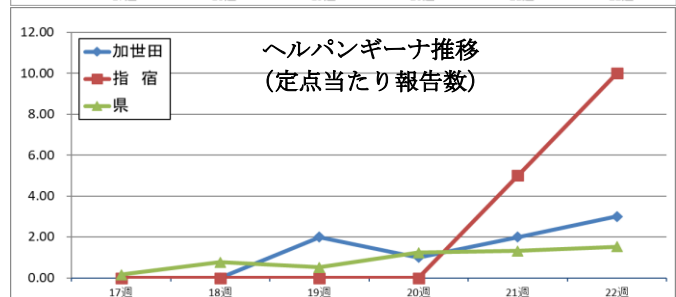


ヘルパンギーナ

第22週の報告数は、加世田保健所管内で3人(定点当たり3.00)でした。

指宿保健所管内では、10人(定点当たり10.00)でした。

県全体では、47人(定点当たり1.52)であり、いずれも増加傾向となっています。



今週の話

ハンタウイルスについて

先月、世界的に話題となったクルーズ船におけるハンタウイルス感染症の発生について、解説します。

1 ハンタウイルスとは

ハンタウイルスは、主にネズミなどのげっ歯類が媒介するウイルスの総称であり、複数の種類が知られています。病原体を保有するげっ歯類の排泄物を含む粉じんを吸い込むことや、直接接触することによって感染するとされています。ウイルスの種類によって、感染するげっ歯類の種類が異なるため、げっ歯類の分布地域によって、それぞれのウイルスが感染を引き起こす地域も異なります(図を参照)。



腎症候性出血熱を起すウイルス群 (アメリカ大陸)
ハンタウイルス肺症候群を起すウイルス群 (ヨーロッパ)

今回のクルーズ船で起こったクラスター事例は、「アンデスウイルス」と呼ばれるハンタウイルスの一種によるものです。

2 アンデスウイルスとは

アンデスウイルスは、南米(アルゼンチンやチリ)に生息するオナガコメネズミが媒介するウイルスです。多くのハンタウイルスは、ヒトからヒトへは感染しませんが、アンデスウイルスは例外的にヒトからヒトへ感染します。感染者の飛沫を吸い込んだり、濃厚接触することで感染が成立します。ヒトに感染すると「ハンタウイルス肺症候群(HPS)」を引き起こします。



3 ヒトに感染すると、どのような症状が出るの?

感染後の症状は、発熱、頭痛、悪寒、関節痛、筋肉痛、結膜充血、腹痛、下痢、嘔吐、咳などで始まります。重症化すると呼吸不全や循環不全を引き起こし、死亡することもあります。症状が出るまでの潜伏期間は通常1~2週間程度ですが、最長で7週間とされています。死亡率はウイルスの種類によって異なりますが、概ね10%から50%程度と高率です。

参考: [ハンタウイルス肺症候群のQ&A](#) | 国立健康危機管理研究機構

厚生労働省は、現時点では、日本国内でHPSが発生する可能性は低いと公表しています。